

よいことの
ために
手を取りあおう

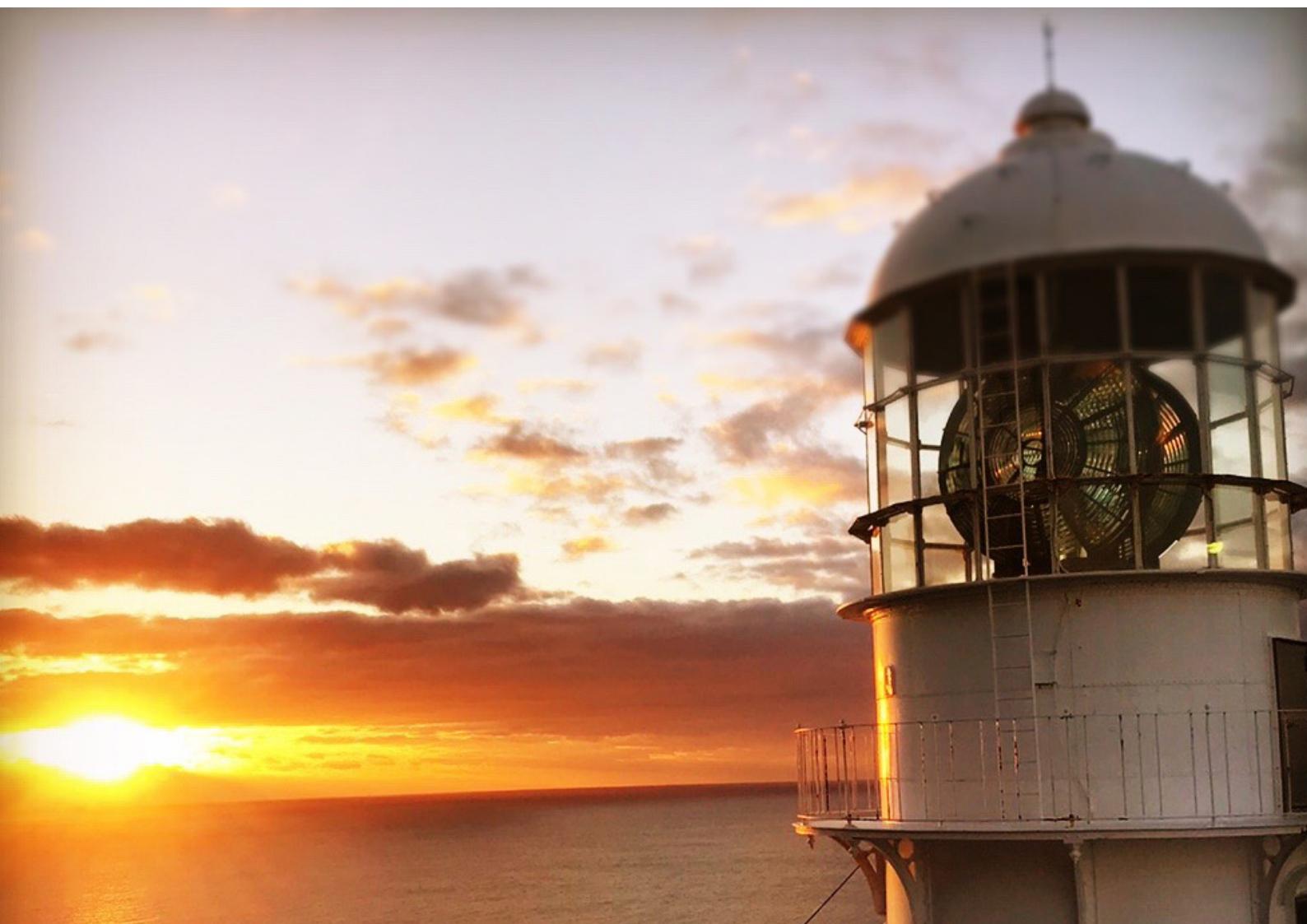
2026

Governor's Monthly Letter

Rotary International District 2670
2025-2026 Governor Office : Kochi-City.Kochi-Pref.

January vol.7

1



RI 第 2670 地区運営方針「地域密着のロータリーを目指そう」
RI 第 2670 地区 2025-2026 年度 ガバナー 織田英正

Rotary 

高知の風景



C O N T E N T S

ガバナーあいさつ	織田英正	3
ガバナー公式訪問		4
地区活動報告		12
2026-2027年度青少年短期交換プログラム 募集要項		15
11月度出席報告		16
受賞者一覧・物故会員		17



国際ロータリー第2670地区 2025-2026年度 ガバナー

織田 英正

Governor's Message

明けましておめでとうございます。2026年(令和8年)を迎えるに当たり、国際ロータリー第2670地区の会員の皆様、会員のご家族をはじめ、ロータリー活動を支えて下さっている関係者の皆様に新年の挨拶を申し上げます。

昨年は地区内の全クラブを訪問し国際ロータリーや地区の課題につきお話しをさせて頂き、ご理解を賜ったものと感じております。訪問先の各クラブの皆様や事前の聞き取り、相談などご協力を頂きましたガバナー補佐の皆様にも、この場をお借りしてお礼申し上げたいと思います。RI2670地区には2025年10月末現在73のロータリークラブに2756名の会員が在籍しており、このうち231名(約8.4%)が女性です。私の所属クラブ(高知南RC)では会員86名中14名が女性で16.2%になっており、地区平均のほとんど2倍の女性会員比率で、その活躍には目を見張るものがあります。通常の毎木曜日お昼の例会はもとより2ヶ月に一度の夜間例会や、同じく夜間開催の情報集会、新会員歓迎会、会員送別会(出席義務はないが出席者多数)などで、活発に親睦を図り同時に情報交換を行います。「楽しくなければロータリーではない」の理念の下、出席してよかったです(楽しかった)と思える例会、集会を心がけています。

問題となるのは、以前は100%を維持継続していたクラブの例会出席率が90%台前半に低下していることです。地区内でも100%出席率のクラブは2025年10月現在6クラブで以前より低下しており、組織の弱体化が懸念されます。ロータリーで会員の帰属意識が低下すると、出席率が低下するように感じます。クラブの経理から考えると、会費を払って例会には出席しない(食事をしない)会員はクラブの経営には貢献していると言えます。しかしクラブの活性化にとってはマイナスと言わざるを得ません。出席して他の会員と定期的に情報を交換しクラブの活性化を図って下さるようお願い致します。

台北で2026年6月に開かれる国際大会への早期登録は終了しましたが、今からでも登録は可能です。

さあ今から登録しましょう!!

ガバナー公式訪問報告【11月】

5
wed

会長：高橋 圭三 幹事：山之内 道明

東予 RC

■ 随行者コメント

東予 RC は、1974 年創立で会員数は 23 名です。会員の平均年齢は 57 歳(60 歳代 11 名、50 歳代 6 名、40 歳代 6 名)で、世代交代と若返りが進んでいます。

高橋恵三会長は、本年度のテーマに、「強くて楽しいロータリー」「Strong & Fun」を掲げ、「親睦」と「真面目な運営」のバランスを大切にされています。

創立 50 周年の節目を昨年に終えた後、退会が連鎖的に発生しました。会員出席率は昨年度 99.16% と大変高く、休むと迷惑をかけると感じた結果の退会もあり、出席プレッシャーの緩和と継続参加しやすい環境づくりを目指しています。例会回数は月 4 回から月 3 回への変更を推進中で、あわせて第 4 木曜日の夜に親睦会を試行中です。

継続事業としては、「カブトガニ」の生育場所として知られる河原津海岸清掃や、「カブトガニ」の放流活動支援、西

条市内の約 30 か所の老人施設への色紙贈呈などを行っています。

例会は、円滑な運営をしつつも、気さくで和やかな雰囲気で、本年度テーマである「強くて楽しいロータリー」を、皆さんで体現されていると感じました。(随行者：西山正晃)



5
wed

会長：濱田 理沙 幹事：木下 達雄

松山 RAC

会長：丸山 舞桜 幹事：千秋 海翔

松山大学 RAC

■ 随行者コメント

【松山大学 RAC】

松山大学RACの会員数は21名（男性17名、女性4名）です。例会は、毎週木曜日の18:30から開催しています。愛媛よさこい、FC今治のお手伝いなど、地域のイベントやボランティアに参加しています。

大学生によるクラブですので、会員の入れ替わりが多く、3年生を中心の運営になるため経験1年あまりで会長エレクトとなる事や、卒業後の地元残留率が低いため継続加入が少ないのも課題との事でした。入会動機は、新入生歓迎会でのビラ配りや、寮の先輩からの勧誘による入会が多いです。

今回のガバナー公式訪問例会は松山RAC・松山大学RACの合同開催でした。近くにRACが存在することで、お互いに協力し、相談できる良い関係が出来ていると感じました。

【松山 RAC】

松山RACの会員数は14名（男性10名、女性4名）です。例会は、社会人である会員の利便性を考え、松山中心部の会場で第2火曜日と第4水曜日の夕方に開催しており、終了後に食事に行く事もあります。また、残業等で現地参加が困難な会員向けにオンライン参加も導入しています。

例会では、メンバーが趣味や仕事、ゲーム感覚の卓話などを開催するとともに、ホストクラブを務める来年の地区大会に向けての打ち合わせを実施しています。真面目さと楽しさの両立が参加継続につながるため、海岸清掃などのボラン



ティアと、お花見やクリスマスなどのイベントを実施しています。

松山地区RCの夜間例会に参加し、こちらのイベントにもRC会員をご招待するなどの交流を実施しています。入会動機は、やはりRC会員のご子息や従業員紹介と、RYLAセミナー参加者の入会事例もあり、提唱クラブとの連携・支援体制が不可欠であると感じました。（随行者：西山正晃）

Governor's Official Visit Report

7
fri

会長：矢野 公俊 幹事：伊藤 忠藏

西条 RC



■ クラブ紹介

西条市は豊かな自然環境が広がっており、古くからの歴史と伝統が息づく土地です。今年度は、楽しく無ければロータリーじゃない、クラブが活性化してこそ発展があるという事で「ENJOY ROTARY」をスローガンに同好会などの活動を推進しクラブの活性化を図っております。現在の会員数は 28 名で更なる会員増強に励んでおります。

■ 随行者コメント

当クラブは設立 64 年を迎え、故佐々木善堯 PG (1990-91、1998-99) を輩出された歴史と実績あるクラブです。

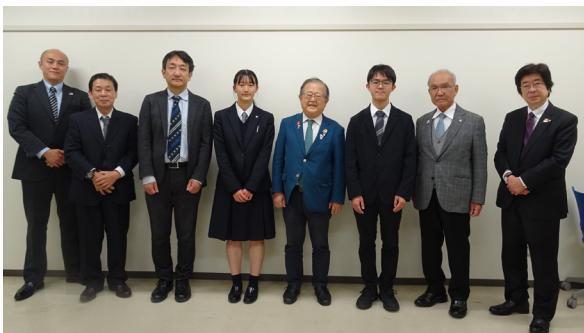
また矢野公俊会長・伊藤忠藏幹事を中心に、会員数 28 名・平均年齢 57.5 歳と若く、例会出席率が 95 ~ 100% とよくまとまっているクラブです。矢野会長は 2 回目の会長で「ロータリーを楽しもう」を会長方針として、若い会員を育てながら充実した活動を行っておられるよう拝見しました。

短期交換留学生の受け入れホストファミリーも、会員のみならず学校を巻き込んでの募集をして 8 件確保されたとのこと。また、GW の頃には「前神寺」で四国八十八ヶ所巡礼者へのお接待を継続して行われておられます。

今期は会員増強目標 2 名、財団寄付目標 \$ 100 が達成可能とのことでした。今後の発展を祈念いたします。
(随行者：松田高明)

10
mon

新居浜 RAC



■ 随行者コメント

ガバナー公式訪問に随行し、新居浜ローターアクトクラブを訪問しました。

同クラブの会員は 36 名が在籍しますが、実働は 10 名強とのことです。事業の柱は大きく二つあり、一つは児童センターでの夏祭り等のイベント支援、もう一つが、ひとり親世帯の小中学生に向けた学習支援活動「はまっこ未来塾」です。

今回は「はまっこ未来塾」を視察しました。定員 20 名に対し応募が殺到するほど人気があり、学習意欲の高い子供たちが集っていました。特筆すべきは、現在の RAC 副会長もこの塾の出身である点です。

会長からは「会員を増やし、外部へクラブの意義を発信したい」との希望が示されました。これに対し、織田ガバナーより「会員増強には、まず自分たちが楽しく活動することが重要」との助言がありました。

未来塾の教材費などは新居浜ロータリークラブから拠出されているとのことです。極めて価値のある活動を RC が支援されていることに、深く感激いたしました。

(随行者：上村博孝)

ガバナー公式訪問報告【11月】

11
tue

会長：高橋 英吉 幹事：真木 正広

新居浜 RC

会長：菅 公逸 幹事：守屋 道範

新居浜南 RC



■ クラブ紹介.....

【新居浜 RC】

59歳以下：20名、60～70歳：34名、80歳以上：6名 ⇒ 計60名

我がクラブは、「楽しいクラブを目指そう 皆で声かけあって」をスローガンに、例会では、月1回席はくじ引きで、更に1回は委員会単位で、残りの回は自由席にて実施しております。今のところ評判もよく、今後も続けていこうと思っております。

【新居浜南 RC】

当クラブは会員数20名、うち3名は女性会員です。会員数は少ないものの団結力は強く、親睦活動を活発に行っています。また、地元に根差したクラブとして、市内小中学生にかかわる事業支援の継続、あかがねマラソンや市民一斉清掃への協力等、地域社会で奉仕の理念を実践しています。クラブの課題である会員増強に向けて一致団結し、クラブのさらなる強化に取り組んでまいります。



■ 随行者コメント.....

【新居浜 RC】

ガバナー公式訪問に随行し、新居浜ロータリークラブを訪問しました。

現在の会員数は63名で、今年度中には67名まで増加する見込みとのことです。会員の3分の1が転勤社員という特徴があり、委員長職をさせる難しさを抱えているとの実情も伺いました。

活動は特筆すべきものが多く、特に「空飛ぶ車イス」事業は、新居浜工業高校の生徒が修繕した車イスを無償で寄贈するもので、事業費はクラブが拠出しています。

また、市教育委員会と連携した青少年育成活動や、別子銅山世界遺産を目指す新居浜南高校生が制作したガイドブック発行支援、ロータークトクラブの活動支援など、青少年育成への多角的な取り組みがとても素晴らしいです。

ガバナーとは財政面で意見交換がなされ、また現役会員にガバナー経験者がいることへの賛辞が送られました。ニコニコの金額を動物に例えるユーモラスな一面も見られました。(随行者：上村 博孝)

【新居浜南 RC】

ガバナー公式訪問に随行し、新居浜南ロータリークラブを訪問しました。

同クラブは次年度に創立60周年を迎える節目の年にあります。会員数は20名で、現在の菅会長が次年度も続投予定とのことです。

会員の半数以上が入会5年未満と新しく、会長は会員研修の必要性を強く感じておられました。これに対し、織田ガバナーからも新会員研修の重要さと方法について助言がありました。

会員維持・増強策として、例会の約半数を「夕刻例会」とし、また未会員も参加可能な「オープン例会」を次年度も継続開催するなど、意欲的に取り組まれています。

ガバナーとは、地区およびクラブの事務局運営(主に財政面)について意見交換が行われました。

菅会長は特に地域密着の活動に注力したいとの意向で、新居浜市出身で新幹線の生みの親である十河信二氏を取り上げた地域振興に強い意欲を示されました。会長の熱い言葉をお聞きし、十河氏が朝ドラで取り上げられることへの期待も高まります。

(随行者：上村 博孝)

※随行した例会は、「新居浜 RC」と「新居浜南 RC」との合同開催。

Governor's Official Visit Report

13
thu

会長：原 竜也 幹事：板脇 俊匡

今治 RC

会長：曾我部 寛 幹事：森田 章仁

今治北 RC

会長：長井 浩 幹事：野間 照博

今治南 RC



■ 随行者コメント

【今治 RC】

今治ロータリークラブ（今治 RC）は、現在 49 名が所属し、今治商工会議所を例会場としています。今回は、原竜也会長、脇坂俊匡幹事、伊東省司ガバナー補佐の出席のもと、意見交換会を行いました。同クラブは創立 91 年を迎え、地区 2670 で最も早く創立された、歴史と伝統を誇るクラブです。親睦活動にも力を入れており、月見会や花見、音楽例会など、多彩で楽しさのあるクラブ運営が印象的でした。また、40 年以上にわたり「今治青少年ロータリー友の会」を支援するなど、奉仕活動にも積極的に取り組んでいるクラブです。



【今治北 RC】

今治北ロータリークラブ（今治北 RC）は、現在 21 名が所属し、今治国際ホテルを例会場としています。今回の意見交換会には、曾我部寛会長、森田章二幹事、伊東省司ガバナー補佐にご参加いただきました。会長・幹事ともに若く、クラブ全体に活気とバイタリティーを感じました。会員数減少という課題もある中、「なんとしても会員増強を実現したい」という強い思いが伝わってきました。また、「水源の森事業」として植樹活動を行うなど、社会奉仕活動にも積極的に取り組んでいることが印象に残りました。



【今治南 RC】

今治南ロータリークラブ（今治南 RC）は、現在 64 名が所属し、今治国際ホテルを例会場としています。今回の意見交換会には、長井浩会長、野間照博幹事、伊東省司ガバナー補佐にご出席いただきました。同クラブは多様な事業に取り組んでおり、中でも 54 年間継続してオーストラリアから長期交換学生を受け入れている点が大変印象的でした。



また、女性会員が初めて入会されたとのことで、今後は女性会員増強にも力を注ぎたいとのお話がありました。持続可能なクラブ運営を目指し、将来を見据えた取り組みが進められているクラブです。 （随行者：秋山直也）

■ クラブ紹介

【今治 RC】

今治 RC は大阪 RC のスポンサーの下、1934 年 10 月 17 日に日本で 13 番目、四国最初のクラブとして創立されました。

現在会員数は 47 名（内女性会員 2 名）です。

今年度は織田ガバナーの「地域密着のロータリーを目指そう」というガバナー方針の下、「今だからこそ今治ロータリークラブの結束を高めよう」というクラブ方針で楽しいクラブ運営を心掛け、会員増強に繋げていきたいと考えております。

9 年後の 100 周年に向けて、会員増強、今治ロータリークラブの活動情報発信に努めます。

【今治北 RC】

クラブは今年度で創立 45 周年を迎えます。

年々会員数が減少し少人数クラブとなっておりますが、皆様和気あいあいと和やかに楽しく毎週の例会を行っております。主な社会奉仕活動として、地区の補助金を活用し奉仕と親睦の精神をもって今治市の水源の確保の為、水源の森事業を毎年 3 月に継続事業として行っております。

【今治南 RC】

今治南ロータリークラブは、創立 63 年目を迎える会員 67 名のクラブです。今年度は「ロータリーライフを楽しもう」「持続可能なクラブ運営」「地域の次世代を担う若者への支援」を方針に掲げています。特に、長期青少年交換やインタークトクラブ支援、米山奨学事業を通じて地域社会の未来を支える人材育成に貢献することを目指します。会員一同、楽しみながら一体感を持ってロータリー活動に取り組んでいます。

ガバナー公式訪問報告【11月】

14
fri

会長：高岡 淳 幹事：川崎 直人

伊予三島 RC

会長：谷 裕二 幹事：高橋 賢司

川之江 RC



■ クラブ紹介.....

【川之江 RC】

当クラブは愛媛県の東端部、香川県、徳島県、高知県と県境を接する四国中央市にあります。当市はパルプ・紙・紙加工品製造業の製造品出荷額では19年連続で全国1位の「紙のまち」です。

当クラブは創立63周年を迎え、現在会員数は47名、平均年齢61.7歳、最年長84歳、最年少42歳です。毎週火曜日の例会の他、定期的に研修会や家庭集会を行って研鑽を積み、ゴルフ同好会と野球同好会では親睦を深めています。



■ 随行者コメント

【伊予三島 RC】

令和7年11月14日、伊予三島RCへのガバナー公式訪問に随行してまいりました。

伊予三島RCは、会員の平均年齢が56歳と愛媛第1分区で最も若いクラブです。当年度の高岡淳会長は、青少年奉仕への造詣が深く、かつて三島高校にインタークトクラブを創設した立役者でいらっしゃいます。そんな会長の青少年に対する深い仁愛の情のもと、充実した青少年事業を行われている印象です。加えて、引きこもりや不登校という大変困難な問題にも取り組もうとしているというお話を敬服いたしました。

出席率の向上にも心を碎いておられ、例会の曜日を変更するなど、エラーを恐れることなく積極的にトライを繰り返しているご様子です。また、例年ボッチャの大会を開催し、障がい者と健常者が真剣にスポーツに取り組むことを通じて心の交流を図っていることが非常に特徴的と感じました。

昨今のペーパーレス化の流れにより、「日本一の紙のまち」に危機感が漂っているとのことですが、次々年度のクラブ創立70周年に向けて、一致団結して更に邁進していかれるであろうことを確信しております。

【川之江 RC】

川之江RCへの公式訪問は、伊予三島RCとの合同例会にて開催されました。

谷会長、高橋幹事との懇談会に於いては、現在女性会員が0名のため、その解消を大きな課題と捉えているものの、製造業が多い土地柄のため女性経営者が少なく勧誘に苦慮している、というこの地域ならではの悩みをお聞きしました。そのため、RCのみならず他の団体でも女性会員は少ない状況とのことです。女性ならではの目線は事業構築においても参考になることが多いので、困難な道だとは思いますが、是非とも入会させていただきたいところです。また、愛媛県では、古来の元服式になぞらえた「少年式」というイベントが中学2年生を対象に開催されていることを初めて耳にし、それに併せたクラブ事業として「将来の夢を語る会」を実施していることが特徴的と感じました。

ちなみに、当年度の高橋幹事は、前高知県知事の尾崎正直氏（現内閣官房副長官）に雰囲気が似ているなあ、との印象を抱きました。あくまで個人的な感想ですので、異論は甘んじてお受けします（笑）。

（随行者：大石崇之）

Governor's Official Visit Report

25
tue

会長：西川 慎一 幹事：大石 勝敏

大洲 RC

会長：島原 茂 幹事：森本 真二

宇和島 RC

会長：新宮 康史 幹事：薬師神 良昭

八幡浜 RC



■ クラブ紹介

【大洲 RC】

大洲ロータリークラブは、第 53 代西川会長の下、会員数 28 名（内女性 3 名）、入会予定者 2 名で活動しています。平均年齢 63 歳と、40 代、50 代の若手会員から 70 代のベテランまで、幅広い世代層の老若男女の構成です。

当クラブの特徴は、会員相互がとても仲良く、例会も和気あいあいとして朗らかでバランスのとれたクラブだと自負しております。

ただ今日の社会情勢の中で現役で仕事をされている方と会長職等で仕事をされている会員さんとの温度差がある事も現実です。

例会の特徴は、大洲城下の花見例会、肱川での鵜飼例会、いもたき例会、紅葉狩り例会、新年家族会等々、工夫を凝らした例会を開催し、会員の親睦と出席率の向上を図っています。

活動の特徴は、環境美化、献血運動など地域に密着した奉仕活動と、大洲まつりでの国際交流茶屋の売上金の一部をアジアの発展途上国の教育施設建設に寄付する国際的視野での支援活動にも取り組んできました。今後は、青少年の育成活動も継続的に行う予定です。

【八幡浜 RC】

今年度は RI マリオさんが突然の辞任、1 月にアレッソさんが新しく選任され、なんとなく波乱の幕開けとなり、正直 RI もどうなっているのかと心配してましたが、メッセージの「良いことのために手を取り合おう」が継承され、先日実施された、地区大会での田中 RI 会長代理の力強い導

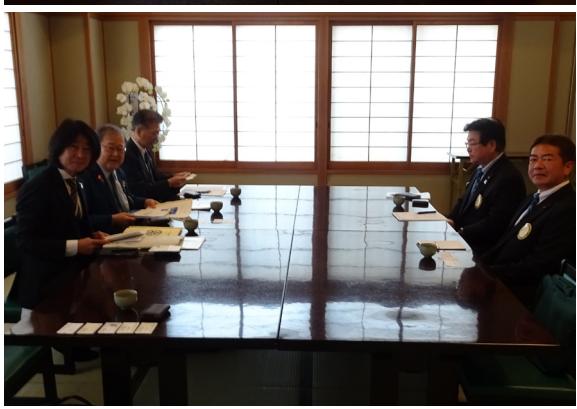
きの言葉、また 2670 地区・織田ガバナーの「地域密着のロータリーを目指そう」のスローガンが四国地区全体に少しずつ浸透てきており。その機運・主旨が伝わってきていました、当クラブは RI 及び織田ガバナーの意向を酌み「地域とともに楽しもうロータリーを・・」にしました。

これは大前提に、八幡浜という人口 3 万人を切る市で、ライオンズクラブが 2 クラブ、プラス、我がロータリークラブと 3 つの奉仕クラブがありその中で会員増強を目指すにはよほど強いインパクトを出すクラブの魅力が必要です、その為には何より地域が必要としている事、特に南海トラフを中心とした予期せぬ災害に対して地域とともに減災・防災等の活動を地域のリーダーとして率先して取り組む必要があります。今年度の具体的活動として有事に地域補助金を活用した「簡易トイレ」配布を 1000 式、市・教育委員会を通して小中学校に配布しました、一度に全学校には配布できませんが、これから毎年続けていこうと考えています。

その他毎年行っている未就学児童に対する芋や玉ねぎの植え付け、収穫、IAC を中心に高校生との離島海岸清掃、通常市内道路清掃は継続しております。

また、会員自身に対しては、会そのものを楽しめないのであれば、会員である意味はない、なんでも良いから自分自身にあった楽しみを見つけられるように、会として活動内容、会の在り方を考えて参りたいと考えています。

ガバナー公式訪問報告【11月】



■ 随行者コメント.....

【大洲 RC】

昨年度末 27 名から現在 4 名増の 31 名と活動目標としている異業種・若手・女性会員の拡充から会員増強に繋がってきております。また大洲市ゴミゼロ運動(530)の参加や肱川トリムパーク一斎草刈奉仕作業、献血奉仕運動、椿の路清掃活動などと合わせての BBQ 大会なども開催し、親睦を深めることに大きく力を入れているクラブだと感じました。今後も女性会員や若手会員の輪が広がっていくことが期待されます。

【宇和島 RC】

現在の会員数は、16 名と少数で運営しているため、委員会をまとめて委員長を減らすなどをしながらクラブ運営をおこなっております。

会員の平均年齢も高く、会員増強の鍵は女性会員と若い会員の入会にあります。

またロータリークラブの魅力を内外に伝えることの取り組みとして、卓話の充実を意識されていらっしゃいます。

宇和島市と協力してのみかん狩りや東日本震災や西日本豪雨への支援金など積極的に活動しております。

国際大会への参加も韓国 10 名ドイツ 3 名、そして今回の台北に 6 名参加される予定のことです。

【八幡浜 RC】

八幡浜市では、人口が 2000 年の 44,000 人から現在は 31,000 人へと減少するなか、ロータリー 1 クラブ、ライオンズ 2 クラブはいずれも会員増強にご苦労されております。

予算の縮小に伴い、例会場を変更しながら工夫を凝らしつつクラブ運営を続けておられます。

そのような環境下にありながら、新宮会長の方針である「災害時における地域との結びつきの強化」を掲げ、地域の保育所と協力した玉ねぎ・さつま芋苗の植え付けや、ふれあい芋掘り大会の実施、八幡浜高校との合同海岸清掃、さらに今年は教育委員会を通じて小学校へ非常用簡易トイレ処理剤 1,000 個を配布するなど、社会奉仕活動に大変尽力しておられます。

(随行者: 加藤輝之)



Governor's Official Visit Report

26
wed

会長：村上 博英 幹事：飯尾 浩二

松山東 RC



■ クラブ紹介.....

今年の10月に創立64周年を迎えた伝統あるクラブです。現在の会員数は24名で、40～80代の会員構成です。恒例事業の「高校生英語スピーチコンテスト」は24回目を迎えました。クラブのテーマは「松山東RCの存亡を決める一年」で伝統を守りつつ、新しいクラブを目指していきます。

■ 随行者コメント.....

【課題】会員数はピーク時約50名から現在約33名へ減少。構成は支店長層が約3分の1、高齢会員が約3分の1、残りが地元会員。実際に会員増強などで動いているのは4～5名にとどまる。退会は主に高齢化が要因で、財政は人件費負担が重く、緊縮と新規会員拡大の両立が急務となっている。

会員数の減少や高齢化、人件費増加など厳しい状況の中で、会員拡大と緊縮の両立に真剣に取り組まれていることが強く伝わってきました。特に限られた人数で実務を支えながら組織の存続を模索されている姿勢に、深い責任感と危機意識を感じました。今後は若い世代や女性層の参画を促す仕組みづくりと、無理のない財務体制の再構築が、クラブの持続的発展につながるものと感じました。
(随行者：森島英典)

26
wed

会長：日野 猛仁 幹事：窪田 雅之

伊予 RC



■ 随行者コメント.....

【課題】当クラブは歴史ある一方、会員31名・年会費18万円で単年度赤字が続き、例会回数削減や親睦会会費徴収などで運営費を見直している。長期留学生受入は近年対応が難しく、ホスト負担も課題。書籍寄贈や芋ほり、バスケット大会など地域奉仕は活発で、今後は会員増強と財政健全化の両立が重要との認識が共有された。

例会運営費削減や親睦会会費の見直しなど、赤字改善に向けた具体的な取組が印象的でした。留学生受入のご苦労や、会員構成の課題も率直に共有され、持続可能なクラブ運営に向けた模索が続いていると感じました。地域奉仕活動は引き続き活発で、今後は会員増強と財政健全化の両立が重要だと考えます。
(随行者：森島英典)



地区活動報告

Monthly Report

長期交換事業オリエンテーション報告

国際奉仕委員会 長期交換小委員会 委員 山口 直剛 (高知南RC)

■概要

2025年11月15日および16日の2日間にわたり、香川県高松市にて長期交換事業の派遣予定学生(2026-2027)並びに受入学生の第1回オリエンテーションが開催されました。参加者は受入学生2名・Alyssa Laura BRANDT(今治南RC)、Keira Ashlyn GARCIA(高知南RC)と、ROTEX2名・桧垣怜也(今治南RC)、前田稟奈(高知ロイヤルRC)、派遣予定学生1名・松岡杏奈(高知南RC)、2670地区より織田ガバナー、松田地区副代表幹事、瀬野長期交換委員長、長期交換委員4名、高松北ロータリークラブより田所会長が出席しました。地区委員、ならびに保護者(16日のみ)の計14名で、当事業の理念と意義を共有し、四国の文化と学びを深める充実した2日間となりました。

11月15日 オリエンテーション●1日目

1日目は11時に宿泊先であるエクストールイン高松中央インターに、今治、高知、高松から学生並びに長期交換委員が集合しました。

オリエンテーションの場所である香川県高松市にて、文化・食・自然に触れながら親睦を深める充実した一日となりました。午前中は「中野うどん学校 高松校」に訪問し、本場讃岐うどんづくりを全員で体験しました。スタッフの方の軽快な説明に笑いが起こりながら、生地をこね、足踏みをし、のばして切るという昔ながらの工程を一つひとつ丁寧に教えていただきました。約30分間の体験でしたが、皆で仕上げたうどんをその場で茹で上げ、昼食として味わう時間は格別でした。自分で作ったうどんの美味しさに驚きの声が上がり、会話も自然と弾み、学生同士の距離が縮まったように感じられました。

午後は、日本を代表する文化庭園「栗林公園」を訪れました。国の特別名勝に指定される広大な庭園は、四季折々の美しさを見ることで知られています。長期交換委員である七條委員の説明を伺いながら、庭園内を散策し、交換学生は南湖を周遊する和船に乗り、静かな湖面から庭園の風景を眺める特別な時間を過ごしておりました。職人の方が手入れを重ねてきた松や石組みの美しさ、湖面に映る木々の色彩、遠くに見える紫雲山の稜線など、陸上からは味わえない風景に見入っていました。

和船での約30分の船旅の後は、お抹茶と和三盆作りの体験へ。香川ならではの上品な甘さが特徴の和三盆とともにいただく抹茶は、歩き疲れた身体にしみわたり、参加者同士の会話も穏やかに弾むひとときとなりました。

庭園散策では、各所で立ち止まりながら景観を楽しみ、歴史と自然が調和した空間を堪能しました。

高松での一日は、讃岐の食文化を体験し、日本庭園の美と伝統に触れ、参加者間の親睦が自然と深まる、充実したプログラムとなりました。





11月16日 オリエンテーション●2日目

会場 ● サンメッセ香川 2F 特別会議室 時間 ● 9時30分～12時30分

2日目の式次第は以下の通り進められました。

- 9:30 開会
- 9:30～9:35 織田ガバナー挨拶
- 9:35～9:55 出席者自己紹介
- 9:55～11:00 DVD「教えてロータリー」上映&オリエンテーション
- 11:00～11:15 休憩
- 11:15～11:50 Alyssa Laura BRANDT 最終報告
- 11:50～12:20 質疑応答・地区役員・委員よりアドバイス
- 12:20～12:30 松田地区副代表幹事 閉会挨拶
- 12:30～13:30 昼食・解散



織田ガバナーよりご自身の海外に行かれた戸惑った経験などのお話があり、「未来を夢見る若者を見守り、支えるロータリーでありたい」という力強く、そして温かいメッセージが送られました。ガバナーの言葉には、長年ロータリーが掲げてきた“奉仕の理念”だけでなく、これが

らの社会を担う若者たちへの深い期待と愛情が込められており、会場の空気が一気に引き締まるのを感じました。学生の表情にも、これから始まる挑戦の大きさと、その挑戦を支えるロータリーの存在意義が改めて刻まれた様子が見て取れました。

その後に上映されたDVD「教えてロータリー」では、ロータリーの理念、使命、そして奉仕の歴史を改めて学ぶことができました。学生にとっては、普段なかなか触れる機会のないロータリーの全体像を知る貴重な機会であり、「なぜロータリーが奉仕活動を行っているのか」という根幹部分が腑に落ちる時間になったようでした。

続いて行われた瀬野長期交換委員長による講話では、ロータリークラブの目的、創設の経緯、国際的な広がりなどが、資料と共に分かりやすく説明されました。今年度のテーマである「よいことのために手を取り合おう — UNITE FOR GOOD」について、国際奉仕事業の背景や意図が丁寧に語られ、参加者の理解が大きく深りました。また、日本のロータリークラブが34地区に区分されていることや歴史的背景、さらに「例会」「奉仕」「青少年交換」などの基礎用語についての説明は、初めてロータリーに触れる学生・保護者にとって非常に理解しやすく、会場全体が真剣に耳を傾ける姿が印象的でした。

11時15分からは、Alyssa Laura BRANDT さんによる最終報告が行われました。彼女が語った日本での一年間の経験はどれも色鮮やかで、日本語で苦労したこと、ホストファミリーとの温かな交流、日本の文化に触れた驚きや発見、支えてくれた多くの人への感謝がまっすぐな言葉で語られ、参加者の胸を打ちました。12月に帰国を控えていることもあり、時折見せる感傷的な表情には、この一年がどれほど深い思い出と成長の時間であったかが滲み出ていました。

質疑応答の時間には、派遣予定学生・松岡さんのお母さまから「渡米に向けて何を準備すべきか」という具体的で現実的な質問が寄せられました。これに対し、ROTEXメンバーは自身の経験に基づき、持参すべきものや現地での生活の実情、心構えなどを丁寧にアドバイスしていました。実体験に裏打ちされた助言は説得力があり、保護者だけでなく学生にとっても大きな安心材料となったようでした。

委員からも、異文化の中で生活する際の姿勢、ホストファミリーへの感謝の伝え方、困ったときに一人で抱え込まず適切に相談することなど、実践的な助言が送られま

した。こうした言葉の一つひとつが、学生たちの不安を少しずつ解きほぐし、交換の意欲と覚悟を後押ししていることが感じられました。

最後に松田地区代表副幹事より「リラックスして、一歩ずつ、自分らしく海外での生活を送ってほしい」という励ましのメッセージが送られ、午前の全体会は穏やかで前向きな空気に包まれながら締めくくられました。派遣予定学生にとっては初めての今回のオリエンテーションは、この長期交換事業が国際親善と国際理解につながる重要なプログラムであることを伝えるいい機会になったと思います。学生が日本、四国の文化を体験し、海外に方々に伝える材料になるこの度のオリエンテーションが持つ意義を改めて感じる2日間になりました。



2026-2027年度青少年短期交換プログラム 募集要項

国際ロータリー第2670地区 国際奉仕委員会

委員長 篠田日出海 (高松南RC)

国際ロータリー第2670地区 国際奉仕短期交換小委員会

委員長 菅 博樹 (西条RC)

実施要項

交換相手地区 RI 第 7475 地区 米国ニュージャージー州北部

期 間 2026 年 7 月 30 日 (木) ~ 8 月 20 日 (木) (予定)

団員構成 リーダー及びアシスタントリーダー……3名

チームメンバー……………20名

合計 (予定)……………23名を上限とする

応募資格

- 第 2670 地区内に居住し、地区内 RC より推薦された高校生 (応募時・中学 3 年生も含む) であること。
原則として各クラブ 1 名とする。また、高校生のロータリアンの子も参加可能である。
- 米国滞在中、感染症に罹患するなど、体調を崩した場合、スケジュール通り帰国できることもある。
- 地区指定の旅行保険に加入すること。

費用

	地区負担	クラブ負担	本人負担
リーダー及び アシスタントリーダー	全額	—	—
チームメンバー	不足額	10 万円	30 万円
ロータリアンの子	不足額	10 万円	35 万円

スケジュール

募集要項発送 : 2026 年 1 月初旬 各 RC 宛

募集締切 : 2 月 27 日 (金)

応募提出先 : ホスト RC を通じて委員会支援事務所へ提出

提出書類 : 「推薦候補者申請書」を提出。

筆記試験のみ : 3 月 7 日 (土) ~ 3 月 15 日 (日) 各県で開催

合同選考会 : 3 月 21 日 (土)

個人面談及びグループディスカッションの予定 於: 松山市

推薦候補者決定 : 4 月初旬

オリエンテーション : 5 月 10 日 (日) 於: 松山市

パスポート申請 : 6 月中旬

(備考) アメリカ側短期交換青少年受け入れは 6 月下旬～を予定しています。

11月度出席報告

分区	クラブ名	出席率 (%)	11月末会員数	首比増減	11月末女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区 9RC	今治	94.68	47	1	2	2
	今治北	83.33	19	0	1	2
	今治南	100.00	67	0	1	4
	伊予三島	94.68	32	0	1	3
	川之江	96.38	46	-1	0	3
	新居浜	90.52	62	1	4	3
	新居浜南	85.71	20	0	3	3
	西条	83.75	28	0	1	3
	東予	100.00	22	-1	2	3
愛媛第Ⅱ分区 10RC	伊予	96.67	31	0	1	3
	道後	79.27	28	0	1	3
	松山	68.81	71	2	10	4
	松山東	77.78	23	-1	0	2
	松山北	93.22	30	2	2	2
	松山南	97.28	49	3	6	3
	松山西	88.16	20	0	2	4
	大洲	87.65	28	1	3	3
	宇和島	77.08	16	0	1	2
	八幡浜	94.74	21	1	1	3

分区	クラブ名	出席率 (%)	11月末会員数	首比増減	11月末女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区 8RC	さぬき	72.92	17	0	0	3
	東かがわ	89.58	25	0	3	2
	小豆島	89.29	28	0	2	3
	高松	100.00	89	7	11	4
	高松中央	83.87	32	0	0	3
	高松グリーン	80.00	35	-1	5	3
	高松東	100.00	47	0	4	2
	高松北	89.12	83	-1	8	3
	高松西	68.55	44	0	3	3
香川第Ⅱ分区 7RC	高松南	72.51	57	-1	3	3
	観音寺	89.44	41	1	3	4
	観音寺東	82.67	26	0	3	3
	琴平	96.97	11	0	0	3
	丸亀	73.68	42	1	3	3
	丸亀東	61.90	44	5	4	4
	坂出	95.37	37	1	2	3
	坂出東	97.25	65	-1	10	3
	善通寺	86.79	39	2	1	3

分区	クラブ名	出席率 (%)	11月末会員数	首比増減	11月末女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区 10RC	徳島	92.65	85	11	4	4
	徳島東	55.56	55	2	5	2
	徳島北	64.58	29	0	6	2
	徳島プリンス	89.06	70	2	13	4
	阿南	70.30	53	2	3	4
	阿南南	81.10	44	-1	0	4
	小松島	86.67	15	0	0	4
	小松島南	54.90	17	0	0	3
	阿南中央	46.15	16	0	3	3
徳島第Ⅱ分区 11RC	徳島眉山	72.22	9	1	0	2
	阿波池田	82.32	41	0	41	4
	御所	91.35	27	0	4	4
	鴨島	90.67	43	-1	4	4
	鳴門	91.11	46	1	4	2
	鳴門中央	95.04	34	0	2	4
	徳島中央	71.74	23	0	4	4
	徳島南	59.09	44	2	5	4
	徳島西	73.15	37	1	5	3
徳島第Ⅲ分区 6RC	脇町	94.23	39	1	2	4
	阿波徳島	66.67	15	-1	1	3
	美馬	73.74	33	2	6	3

分区	クラブ名	出席率 (%)	11月末会員数	首比増減	11月末女性会員数	例会数
高知第Ⅰ分区 7RC	安芸	81.82	21	0	3	4
	中芸	91.67	12	0	0	3
	香長	96.55	10	0	0	3
	高知中央	82.05	47	1	0	2
	高知東	100.00	49	-2	6	3
	高知南	87.83	86	0	14	4
	高知ロイヤル	78.05	23	1	3	2
	高知	88.00	82	-1	10	2
	高知西	80.74	73	1	4	2
高知第Ⅱ分区 8RC	高知北	82.35	37	3	3	3
	中村	86.29	61	2	7	4
	四万十	66.67	9	0	1	2
	仁淀	91.67	14	1	2	2
	宿毛	59.52	23	-2	2	4
	須崎	50.00	15	0	0	2

	出席率 (%)	11月末会員数	首比増減	11月末女性会員数
73RC 合計	82.81	2,759	47	274


受賞者一覧

**アーチ・クランフ
ソサエティ会員**


前田 直俊
坂出東 RC



坂本 弘明
観音寺東 RC



山崎 俊二
観音寺東 RC



鎌倉 克英
坂出東 RC



南保 正義
坂出東 RC



前田 隆史
善通寺 RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー


羽野 慎一
観音寺東 RC



安井 一博
善通寺 RC



前田 直俊
坂出東 RC



南保 正義
坂出東 RC



小野山 敬一
高知西 RC



山岡 敏則
高知西 RC

**マルチプル米山
功労者**


岡田 祥司
高知西 RC



丸岡 俊文
観音寺東 RC



鎌倉 克英
坂出東 RC



宮武 宏行
善通寺 RC



浪花 穰
善通寺 RC

米山功労者


金地 行雄
坂出東 RC
2025.11.10 逝去
享年 81 歳

物故会員

ご冥福をお祈りいたします

Rotary International District 2670 Information

ガバナー事務所から情報発信いたします

ぜひ、ご登録いただきますようお願いいたします。



ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

ガバナー月信はネット配信となっています。
ガバナー事務所の HP で月信の閲覧およびダウンロードをお願いします。



<http://www.rid2670.jp>

記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールです。
日頃の奉仕活動等を下記へお送りください。

宛先 monthly2526@rid2670.jp **締切** 毎月 15 日

物故会員の連絡について

クラブ名、氏名、逝去年月日、年齢と顔写真（画像ファイル名＝氏名）をお送りください。

受賞者紹介について

所定の Excel ファイルにクラブ名、氏名、受賞種別を入力の上、顔写真（ファイル名＝氏名）をお送りください。

出席報告について

毎月最終例会後、翌月 15 日までにガバナー事務所までメールまたは FAX でお送りください。

クラブの行事や活動状況等について

原稿と写真を添付の上メールでお送りください。



国際ロータリー第 2670 地区 ガバナー事務所
E-mail:s-kochi2526@rid2670.jp

国際ロータリー第 2670 地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事：小笠原 光豊／担当幹事：久保 英明

〒 780-0861 高知県高知市升形 4-10 升形マンション 1F TEL : 088-802-7262 FAX : 088-802-7263